

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県農林水産部 水産局水産課	
政策目的		ノリ漁業経営の強化	
政策目標		資源増殖目標	29-1
事業実施主体		富津漁業協同組合	
実施地区名		富津地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成 30 年度～31 年度	令和 3 年度
交付金額		172,365 千円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機 10 連型（9,000 枚/時） ノリ加工施設の上屋 467.30 m ² 附帯施設整備工事（電気・機械設備、水道引込） 設計監理業務委託	
評価	成果目標		漁業所得の増加率を指標として現状値の ●●● 千円から 187%の向上
		現状値	●●● 千円（令和 3 年度末時点）
		目標値	●●● 千円（令和 3 年度末）
	（1）現状値の説明		漁業所得の増加率を指標として、受益者 5 名のノリ共販実績及び所得税に係る確定申告書を用いて計算時の現状値（平成 24 年～28 年の 5 年平均）と目標値を算出した。現状値についても目標値と同様に受益者 5 名の所得税に係る確定申告書から算出した。 成果目標の達成状況 計画策定時の目標値 ●●● 千円（187%）に対し、目標年度の現状値は ●●● 千円であり、計画時点での現状値の 75%、目標値の 40%となり目標達成に至らなかった。
	（2）地域への経済効果 （ハード事業のみ）		施設が整備されたことで、地域の雇用が発生したほか、漁業

		者家族が行っていた陸上加工作業が加工施設の委託となり削減されたことで、負担の軽減が図られた。
	(3) 所見	施設整備により、陸上加工作業による負担軽減により海上での生産に労働力の増加を見込み、生産柵数を増加させ生産枚数の増加を図る計画であった。 結果、実績の柵数は計画時の 201 柵（計画値）を上回る 216 柵（R3 実績）となった。 しかし、生産枚数については、魚類等の食害や病気の発生を原因としたノリ生産枚数の減少により、計画時の生産枚数 1,084 千枚に対して、実績は 694 千枚 (R3 実績) と計画時現状値の 64%、計画目標値の 1,320 千枚の 53%にとどまっており、生産枚数の減少が目標未達成の原因となった。 なお、品質の向上による単価向上効果については、計画時の受益者 5 名の平均単価 11.3 円/枚に対し実績は 14.0 円/枚と向上し、施設整備後の単価は上昇した。
	(4) 評価機関の意見等	
今後の改善方向等に関する分析		施設整備により、陸上加工作業の軽減による柵数の増加が図られたにもかかわらず、生産枚数が増加せず、所得減となり計画目標は未達成となった。 要因として、計画時には想定していなかった食害による生産不振がある。 対策として、改良型防除ネットの設置の徹底に加え、生産初期の水溫低下が早く食害を受けにくい岸側の漁場を利用するほか、食害を受けにくく生産が安定しやすい支柱柵の生産を増やすなどの対策をとることで、生産枚数の増加による目標達成を図ることとする。 また、黒ノリよりも高い単価が期待できる青混ぜノリの生産を増やす取組を併せて行うことで、所得向上に努める。